

科目名	環境都市工学演習（1b） Civil Engineering Exercises Ib	科目コード	51450
-----	--	-------	-------

学科名・学年	環境都市工学科・4年（プログラム1年）
担当教員	井林 康（環境都市工学科）
区分・単位数	履修単位科目・必履修・1単位
開講時期・時間数	後期，30時間【内訳：講義10，演習0，実験0，見学12，その他8】
教科書	
補助教材	自作教材（見学先の資料等を含む）
参考書	

【A. 科目の概要と関連性】

既存または建設中の都市施設や環境関連施設を見学し、授業で身に付けた知識を用いながら、施設の社会的な意義、施設の構造的な特徴や機能、および施工法について学習する。また、この授業での見学を、以後の学習に関する予備知識を身に付ける機会とすることもある。

○関連する科目：環境都市工学演習（1a）（前年度履修）、建設マネジメント（次年度履修）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(D)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
① 都市施設や環境関連施設の社会的な意義を理解する	30%	(e1)
② 都市施設や環境関連施設の構造的な特徴や機能を理解する。	35%	(d1)
③ 都市施設や環境関連施設の施工法を理解する。	30%	(d1)

【C. 履修上の注意】

実地の見学の前に、見学対象に関する十分な予備調査をおこない、不明な点は、実物の観察や先方の担当者への質問によって、明らかにすること。見学の報告（見学レポート）は、上記の「到達目標」との関連を意識してとりまとめること。見学先では、安全に留意した服装や行動をするほか、見学の希望を受け入れてくれた先方に対し、失礼のないようにしてほしい。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50点以上を合格とする。

- レポート（100%）

【E. 授業計画・内容】

● 後期

回	内容	備考
1	授業案内	
2	見学（1回目）のための事前説明	
3	現場見学（1回目）	
4	現場見学（3回目の授業に合わせて振り替え）	
5	現場見学（3回目の授業に合わせて振り替え）	
6	見学レポート作成	
7	見学レポート作成	
8	レポートの講評と事後の解説（講義）	
9	見学（2回目）のための事前説明	
10	現場見学（2回目）	
11	現場見学（10回目の授業に合わせて振り替え）	
12	現場見学（10回目の授業に合わせて振り替え）	
13	見学レポート作成	
14	見学レポートの改訂	
—	前期末試験	試験期間のため休講
15	レポートの講評と事後の解説（講義）	